

平成30年度 屋久島ぼんかん鉢入れ式

「12月3日」屋久島町麦生集落の大山一さんの樹園地で、平成30年度屋久島ぼんかん鉢入れ式が開催され、出席者全員で待ちに待った収穫開始を祝いました。

今年の屋久島ぼんかんは、台風の影響もあり例年に比べ若干数量減の170トンの数量見込みで、鹿児島県内を中心とした出荷となります。大粒で濃厚な美味しさが特徴で、程よい酸味で、しっかりとした食べ応えが好評の屋久島ぼんかんは、12月10日～20日にかけて出荷の最盛期を迎えます。

また、12月15日に鹿児島市のかんまちあで開かれたアグリフェスタでも種子島の安納いもとと一緒に宣伝販売しました。

→屋久島ぼんかん鉢入れ式



→アグリフェスタでの
ぼんかんの宣伝販売



平成30/31年産 さとうきび原料受入開始式

「12月17日」中種子町の新光糖業株式会社で、平成30/31年産さとうきび原料受入開始式が開催されました。

各関係機関の代表者がテープカットを行い、出席者が見守る中、さとうきびを積んだトラックが次々と工場に乗り付けました。

種子島の基幹作物であるさとうきびの集荷がスタートし、約4ヶ月に渡る収穫に種子島全域が活気付きます。

今期のさとうきびは、秋口まで順調な生育を見せていましたが、台風24号の直撃を受け、生産量は歴代ワースト3位の1万9800トン、単収5494キロにとどまる見込みです。ここ数年の不作により、生産面積・栽培農家も減少傾向にあり、種子島の基幹作物であるさとうきびを取り巻く状況は厳しくなっています。



→種子島の基幹作物の
さとうきびの集荷が
スタート



JA女性部と JA役職員の語る会

「11月30日」JA女性部は、中種子町の多目的研修施設（べっぴんハウス）で、JA役職員との語る会を開き、貴重な意見交換が行われました。

女性組合員の加入や各JA事業についての意見・要望が多数だされ、これからのJAの発展に向けた活発な議論が行われました。

提案された意見・要望に対し各部門と連携を取りながら、改善を図っていくこととしました。

また、女性部手作りの昼食も振舞われ、大変好評でした。



→女性部より
振舞われた昼食

